



「正しい姿勢」と「聞く力」は学びの基本 ～ 9月17日(金)学校訪問より ～

9月17日(金)に県・町教育委員会及び町内小・中学校の校長先生による「学校訪問」がありました。これは、授業の様子や学校の取組を参観していただき、学校教育の充実や改善に資するという目的で毎年実施しているものです。この日は終日に渡りすべての学級、教員の授業を公開し、多くの指導、助言をいただきました。

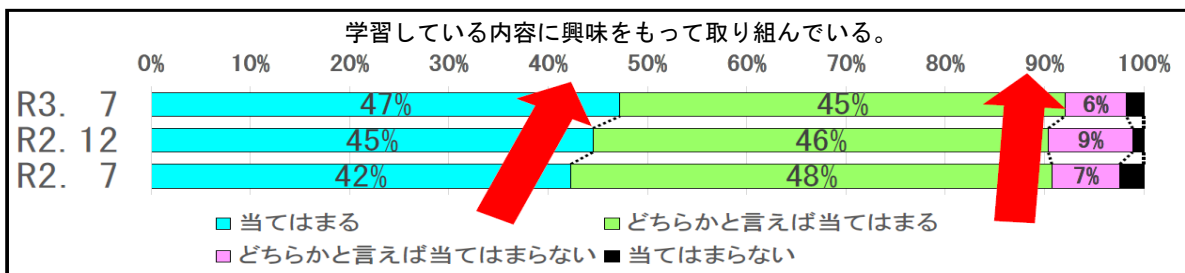
その中で、「とても姿勢がよい」「皆顔を前に向けて聞いている」「教室の空気感がすばらしい」などの学びに向かう構えについて、お褒めの言葉を多数いただきました。本校では、目指すべき学習習慣を『学びの作法』として整え3年目となります。その中でも特に「聞く」ということにスポットを当て、授業のみならず、全校や学年団の集会、部活動等、あらゆる場面で子どもたちに「聞く」ことの大切さを説きながら習慣化を図ってきた成果が表れていると考えています。

「聞く」ことを大切にすることにより、以下のような効果を期待しています。

- ◆ 学習内容の理解が深まる。
- ◆ 次の活動にスムーズに移行できるなど、効率よく学習が進められる。
- ◆ コミュニケーション能力の基礎が培われる。
- ◆ 集中力が高まる。
- ◆ 子どもたちが相互に学び合う雰囲気が醸成される。

聞く習慣を身に付けさせるためには、ただ単に「聞きなさい」という指導ではなく、① 魅力のある学習課題の設定や資料 ② 仲間とともに高め合うグループ学習や子どもたちが活躍する場面の設定 ③ 自分の成長が実感できる授業の振り返りや教師の称賛等の充実した学習活動が大切と考え、すべての教員が日々の授業を工夫・改善しているところです。

下のグラフは、1学期末に実施した「生徒による授業評価」における「興味をもって学習に取り組んでいますか?」という質問に対する回答状況です。肯定的に回答した生徒の割合が多くなっていることから、上記①による成果を感じています。



学校生活の大半を占める授業において、「心やすらぎ雰囲気」の中で、子どもたちが「学びにときめき」ながら、確かな学力を身に付けられるようこれからも取り組んでまいります。



- 「学びの作法」
- 一 机の周りやロッカーの整理・整頓をしよう
 - 二 授業の準備を休憩時間にしよう
 - 三 3分前入室、1分前着席をしよう
 - 四 姿勢を正し、張りのある声で挨拶しよう
 - 五 「聞く」ことを大切にしよう
 - 六 友達としっかり学び合おう

【綾南中学校『学びの作法』】

